

港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、ともに考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

発行 **港新聞** (代表: 飯田吉一)

〒552-0005 大阪市港区田中3-3-3 TEL・FAX: 06-6571-4636

<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

Eメール: yamaemi@bridge.ocn.ne.jp

毎月15日にホームページで発行 <冊子1冊300円, 年間3000円>

港新聞が閲覧できる場所

港図書館(弁天2-1-5), 港区民センター(弁天2-1-5), 弁天町市民学習センター(弁天1-2-2-200), 各銭湯(朝日湯除く), 港区在宅サービスセンターひまわり(弁天2-15-1), 築港地域在宅サービスステーション(築港2-4-16), 港スポーツセンター(田中3-1-126), ほのぼの休憩所(八幡屋商店街内), 石炭倉庫(波除6-5-18), シネ・ヌーヴォ(西区九条1-20-24), 韋駄天尊(繁栄商店街内), 珈琲館隠岐(磯路3-25-6)

パソコントラブルレスキュー

パソコンに関することなら、すべておまかせください。

矢野システム研究所

- ▶ パソコンが起動あがらない
- ▶ データを消してしまった、消えてしまった
- ▶ ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出した!
- ▶ ウィルスが進入して困った、どうしよう
- ▶ 外国船のパソコンが調子悪い、助けて!

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

本のことなら...

(株)オリオン書房

港区全域配達! 電話かFAXでご注文下さい

八幡屋2-6-101 TEL 6571-2204
南朝潮コーポ商店街 FAX 6571-2204

ゆうやけ

★障害があっても逞しく生きる姿に心洗われました。全身の筋肉が委縮していく難病を抱えながら中学生と交流を重ねた少女(1頁)。不自由な肢体を訓練して成長する幼児たち(6頁)。そして小規模作業所が連携して催したイベントの明るさ(16頁)。些細な事でうろたえがちな健常者を叱咤するがごとき空気をこれらの記事から感じとって頂ければ幸いです。

★「♪そして一つが終わり、そして一つが生まれー」(前川清『そして、神戸』)。公営の赤バスが消えて民営の青バスへ(11頁)、苦節22年の争議を終えて労働者医療の再建へ(14頁)。有為転変は世の摂理ですが、その中から、

より地域や庶民のプラスになる続篇を記事にできる日が来ることが期待されます。

★有為転変といえは、一匹狼画家・岸本安司さんが他界され、追悼記事を載せています(32頁)。他にも本紙関連の方が何人か幽明界を異にされましたが、岸本さんと同様、その前向きな生き様は区民の心に生き続けています。

★昨年7月からインターネット発信に切り替えましたが、「紙で読みたい」人のために区内各所(上に一覧)に設置している冊子版を自宅へ持ち帰る人がいたはるようです。読んでくれるのは嬉しいんですが、「閲覧」のハンコ押してますんで、ちょっと考えて下さいね。